



川遊びやキャンプなどのアウトドア

愛犬と楽しいアウトドア遊び。でもちょっと待って！
野外活動では、犬も蚊やダニに刺されたり、
土や水の中に存在する病原体に感染したりするリスクがあります。
人だけでなく、犬も必要な予防対策をして、注意しながらアウトドアを楽しみましょう。

草むらで遊ぶ時は
要注意！

蚊… フィラリアを媒介
ノミ・マダニ… 寄生し吸血
(病気を媒介することも)

- ✓ 定期的な予防薬(駆除薬)の投与
- ✓ 屋外活動時の虫よけ



川遊びでは
これも要注意！

レプトスピラ症

レプトスピラという細菌が原因になる人獣共通感染症です。

感染経路	野生のネズミなどの野生動物が保菌し、尿に排泄するため、保菌動物との直接的な接触や、その尿で汚染された水や土壌との接触により、口からもしくは皮膚(傷口など)から体内に入って感染します。
感染原因	保菌動物との接触 河川でのレジャーや田んぼなどの湿った土壌での活動 (特に大雨の後など)
犬の症状	発熱、食欲不振、元気消失、嘔吐、脱水 重篤な状態では、粘膜の潰瘍形成(歯茎、舌から出血・壊死)、粘膜充血、ぶどう膜炎、黄疸、腎機能不全、肝機能不全など
予防等	予防方法: ワクチン(飼育環境や生活スタイルにより、接種を検討しましょう) 消毒方法: 十分な洗浄と乾燥、熱(50℃10分以上)、次亜塩素酸ナトリウムや逆性せっけんなどで消毒できます。

神奈川県内での犬レプトスピラ症は、令和2年は2件、令和3年は1件、令和4年は3件と、非常に少ないですが、毎年報告されています(農林水産省 届出伝染病発生年報より)。
病原性レプトスピラには多くの種類(血清型)がありますが、犬のレプトスピラ症の原因として発生が多い血清型に対しては、予防ワクチンがあります。

山や川などで犬を遊ばせる場合には、ワクチン接種をご検討ください。(7種や8種の混合ワクチンには含まれています)。ただし、ワクチンで100%感染を防ぐことはできませんし、ワクチンに含まれない血清型も存在しますので、十分注意し、もし症状が出たらすみやかに受診しましょう。

参考: 神奈川県獣医師会ホームページ「犬のレプトスピラ症について」
国立感染症研究所ホームページ「レプトスピラ症とは」など